

◆teku-teku 2011★飯能・入間プレ企画(活動記録+評価集計結果)◆

企画■飯能・入間の名建築を訪ね、保存再生を考える ～旧平岡レース事務所棟+武蔵豊岡教会～

日時■2011年5月8日(日) 10時10分～17時頃

コース■午前の部：飯能駅～中心商店街+店蔵絹甚(内部見学)～旧平岡レース事務所棟～飯能駅

午後の部：入間市駅～旧石川組製糸西洋館～旧黒須銀行+繁田醤油～黒須公民館(講演会)

～武蔵豊岡教会(内部見学)～入間市駅

参加者■◎大竹 亮+宮尾節子(飯能)+荒牧澄多(入間)、河原佳明、平井志都葉、古里 実、山根純一
(以上7名、敬称略、◎コーディネーター)

企画主旨■今回は、飯能・入間にある存続が危ぶまれている名建築を訪れ、保存再生について考えます。飯能にある旧平岡レース事務所棟(遠藤新設計)は、保存活用から方針が一転して取り壊し計画が進む中、市民有志が保存運動を始めています。今回は内部は見られませんが、地元関係者にご案内をお願いしています。入間にある武蔵豊岡教会(W・M・ヴォーリス設計)は、一帯の区画整理事業により存続が危惧されており、地元まちづくり団体がその価値と魅力をアピールしています。今回、「建築家ヴォーリスと武蔵豊岡教会」という講演会(講師：山形政昭氏+内田青蔵氏)が開催され、見学会も予定されています。また、入間には他にも西洋館、黒須銀行など見どころが多くあります。飯能・入間の価値ある建物を見て、その将来を一緒に考えましょう。

<参加者の意見・評価>

1◆飯能中心街を歩いている印象(店蔵絹甚などを含む)

○絹甚をはじめとする立派な蔵や通り沿いの町家に看板建築、丸窓のついた洒落た洋風旅館等見どころが多くて飯能の印象が変わりました。立ち寄った丸屋酒店での町づくりのお話も興味深かったです。

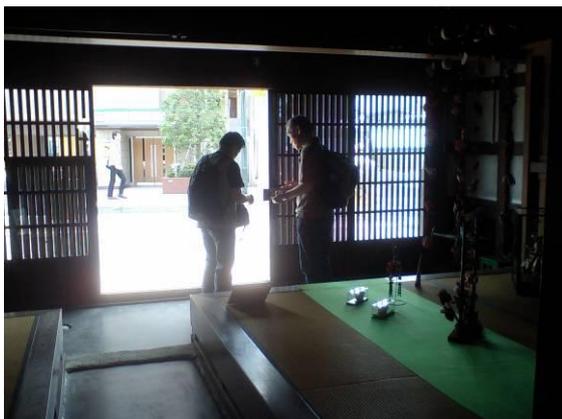
○飯能といえば西武線の駅のひとつとしてしか思い浮かばない状態で参加したが、古い建物が多く、相当裕福な歴史があるまちと認識するに至りました。

○駅から商店街を歩いてみると、蔵造りの伝統商家やレトロな看板建築、モダンデザインの店舗などが並んでいた。そして、それぞれのお店も従来ながらの商売を続けており、町の雰囲気も楽しそうだった。丸屋酒店で、まちづくりのお話が伺えたのも良かったし、特に店蔵絹甚は、重厚な蔵造りの建物が商店街の中で保存されており、市民主導で有効活用されているのが、心強かった。古くていいものがたくさんあって、今も使われている町だと思う。それを上手に活かすまちづくりの仕掛けが期待される。

2◆旧平岡レースを見ての印象と保存活用方策など

○飯能の繊維産業の象徴として、事務所以外の建物や庭園も含めた空間として、非常に貴重なものであったことだろうと思う。それは、わずかに残された建物や樹木からも感じ取ることができる。図書館という多くの市民が利用する文化施設の一角に、飯能の近代化の歴史とこの地が果たした役割を伝える意味で、建物の保存を切に願うものである。

○事務所の中は外見以上に素晴らしいと聞いたので、内部が見学できず残念。さらに言えば、事務所以外の建物や木々が残っているうちに来たかった。せめて事務所は残し、郷土資料館や展示スペースとして活用してほしい。



飯能中心街で保存活用されている店蔵絹甚



取り壊される予定の旧平岡レース事務所棟

○今際の際の現場は見るに忍びない状況。建物保存が無理でも、せめて今残っている樹木だけでもそのままにできないのでしょうか。

3◆入間黒須地区を歩いての印象（西洋館などを含む）

○石川組製糸の西洋館、ヴォーリス設計の武蔵豊岡教会、黒壁土蔵の旧黒須銀行、そして老舗の繁田醤油と、格調ある建物が多く存在している。往時の繊維産業の経済的繁栄と入間の文化的豊かさを実感した。現状では街としてはやや散漫な印象であり、区画整理を機会にこれらを活かしたまちづくりを期待したい。

○そこここに、石川組製糸の繁栄の跡がうかがえる。

○駅近なのに緑豊かな場所に個性的な建物が点在していて、散策するには丁度良かったです。

4◆武蔵豊岡教会を訪れての印象と保存活用方策など

○建物としての美しさはもちろんであるが、講演会や見学会に集まった地域の人たちの愛着ぶりに感激した。もともと、石川組製糸が従業員と地域住民のために設立したという由来が、入間の繊維産業の歴史と社会貢献の理念を表わしている。この意味で、景観的にも歴史上も西洋館などと呼応した建物であり、内部が寒いなどの物理的性能は現代の技術で解決できるので、ぜひ現地で残していただきたい。

○プロテスタント教会はそもそも建物にさほど重きを置かないが、さすがヴォーリス、質実な美がある。我が国には数少ない建築的価値を持つプロテスタント教会と言えるので、移築でもして残すべきだとは思ふ。教会としての機能を残せない場合は、例えばコンサートホールなどに使えないだろうか。

○講演会で先生が絶賛していた手仕事の外壁に夕方の西日が当たって独特の陰影がついているさまが、特に印象的でした。一方、信者の半数が取り壊し止むなしと思っている話を聞いて、ちょっとショックでした。まずはそれらの方々に保存への理解を得るところからでしょうか。



入間市黒須の武蔵豊岡教会



武蔵豊岡教会の内部

5◆今回の企画その他の感想など

○実は半年以上病床にありましたが、ようやく快復し、西洋館の多い企画に惹かれ徐々に参加しました。体力的に自信がないだけに、ツワモノ揃いの参加メンバーを目にして正直「ヤバい日に来ちゃった」と思いました。予想通りというか予想以上に超マイペース、しょっちゅう脱線、誰かが（誰とは言いませんが）突如として行方不明、飯能→入間の電車8分間でそそくさとパンを食べて昼食、と、「強行軍、色気なしグルメなし」の往年のteku-tekuらしい一日でした。途中、2時間の講演があり、不謹慎ながら多少うとうとできたので、何とか完遂できました。皆様の飽くなき情熱にただただ感心するばかりです。（H・S）

○とにかく盛りだくさんの企画で、お腹いっぱいになりました。あまりの過密スケジュールで、ランチが快速渋谷行の車中で河原さんのふるまい地酒を片手に・・・というの、楽しい思い出になりました。企画していただいた大竹さん、ありがとうございました。（Y・J）

コーディネーターより●入間は川越のK・Fさんから、飯能は地元のK・Mさんから、それぞれお知らせをいただいたのですが、名建築の保存再生という共通のテーマでしたので、急遽、一本化した企画を組ませていただきました。予想以上にタイトなスケジュールとなってしまいましたが、現地を見てお話を聞くことにより、それぞれの建物の価値はもちろん、市街地の中での位置や周辺との関係、町の歴史や産業の中での意味合いがよくわかりました。そして、町の人たちの建物への想いが伝わってきて、何より感激しました。町と人と建物の良き関係が築かれつつあるように感じました。ご案内下さった宮尾さん、荒牧さん、ありがとうございました。（R・O）

※その後、武蔵豊岡教会は、現地保存が決まったとのことでした。